



National Institute of Technology, Toyama College

02 校長ごあいさつ

03 平成28年度 卒業証書・修了証書授与式

08 進路一覧

10 就職・進学体験記

12 インターンシップ

14 退職教職員挨拶

15 News & Topics

16 平成29年度行事予定



富山高等専門学校長
石原 外美



退任のご挨拶

春の日差しが心地よく、そよぐ風にも、咲き始めた花々の匂いを感じ取ることができるよい季節となりました。巣立ちの日を迎えた本科生211名、専攻科生42名の学生諸君、卒業おめでとうございます。

私ごとですが、平成25年4月1日、富山高等専門学校長として赴任後、早4年の月日が経過しました。この間、学生諸君を社会に送り出し、新たな学生諸君を迎え入れることを繰り返すうちに、平成29年3月31日をもって、任期満了により定年退職することとなりました。その間、諸君には大変お世話になりました。有難うございました。

さて、現在、富山高等専門学校は、下記の教育、研究等の諸項目について、社会から極めて高い評価を受けています。

(1) 就職、進学 昨年受審した、学位授与機構による機関別認証評価において、本校の就職率、進学率が「極めて高い」との評価を受けました。

(2) グローバル展開 世界8カ国11高等教育機関と連携し、学生、教員の相互訪問を実施中です。平均して毎年75人が海外留学、インターンシップで出かけ、また国際会議を定期的に開催するなど、本校は、高等教育機関がグローバル展開する際のよきモデルとなっています。

(3) 研究力 文部科学省科学研究費の獲得件数が毎年35件程度あり、全国高専の中でトップクラスです。この獲得件数は、教員が有する研究力を測る客観的尺度と見なせます。研究力の高さは学生諸君に対する課題解決力の育成に寄与します。

(4) 地域貢献 技術振興会228社、共同研究40～50件、企業人との共同教育の導入等、地域の皆様との連携のもとで実践的教育を実施し、地域企業との共同で製品開発、共同研究を進めるなど、全国高専の地域貢献の在り方に関して規範となっています。

学生諸君には、富山高等専門学校という優れた学校で学んでいるという誇りを持っていただきたい。よい教育環境の中で勉強することで、諸君の未来の可能性が広がることを期待しています。

さて、日頃から諸君に申し上げていることを復唱します。①物事を俯瞰し、主体的に考え行動すること。まずはできることから始め、計画的に進める。②失敗を恐れず、何回もやり直すことができる耐力を身につけること。③人との出会いを大切にすること。④他者への感謝の気持ちを忘れないこと。⑤健康に留意すること。⑥まじめに誠実に歩むこと。

諸君には直接退任のご挨拶ができませんでしたが、諸君のこれからの人生が満足できるものになるよう、目標へ向かって普段から努力されますよう強く期待しています。

末筆になりますが、保護者の皆様方には、本校の教育研究活動にご理解とご支援を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。学校をよくするために、皆様方と常日頃からお話ができ、それはよい思い出となっています。皆様方の、今後のご健康と益々のご発展を祈念しています。有難うございました。

平成28年度

卒業証書・ 修了証書授与式

Commencement



富山高等専門学校
後援会会長
伊藤 雄一郎

卒業を祝して

卒業生・修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、富山高等専門学校卒業の日ということで、感激もひとしおかと思えます。後援会を代表して心よりお祝い申し上げます。

また、石原校長はじめ教職員の皆様には、今日まで温かく、時には厳しくご指導していただき、誠にありがとうございます。

さて、母校を巣立つ貴方たちは、今何を思っているのでしょうか？ 新しい環境への希望？ 何が待ち構えているかわからない不安？ いろいろな悩みがあるかもしれません。しかし、忘れないでください。貴方たちが母校で学んだ知識・経験は、全国から高い評価を得ていることを。そして、一人一人違う個性を持つ、多くの友人と出会い語りあった日々を。貴方たちの未来は無限に広がっています。たまに、まわり道もいいかもしれません。立ち止まることも必要でしょう。人の人生には、早い遅いは、ないと考えます。自分で考え、周りの人の声を聞き、一步一步進んでください。

卒業生・修了生の輝かしい未来を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

富山高等専門学校
後援会筆頭副会長
高澤 千夏

卒業生の 皆さんへ

卒業生・修了生のみなさん、おめでとうございます。また、保護者の皆さまにおかれましては、今日という日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。希望と不安を胸に入学し、多くのことを学び、たくさんの友情を育んだ、あっという間の5年間だったと思います。

春からの新生活に向けて、就職、進学、それぞれの道を歩んでいかれますが、高専で学んだ専門知識、経験を活かし、一步一步、自分の夢に向かい、歩んでください。夢を叶えるヒントとして私の好きなウォルト・ディズニーの言葉を贈ります。【夢を叶える秘訣は、4つのCに集約される。それは、「Curiosity 好奇心」「Confidence 自信」「Courage 勇気」そして「Constancy 継続」である。】

卒業生・修了生のみなさんの今後のご活躍をご祈念いたします。

最後になりますが、時には優しく、時には厳しく、情熱をもって学生をご指導いただきました、石原校長はじめ教職員の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成28年度卒業生・修了生数

本科生	211名
機械システム工学科	49名
電気制御システム工学科	36名
物質化学工学科	45名
電子情報工学科	35名
国際ビジネス学科	46名
専攻科生	42名
エコデザイン工学専攻	25名
エコデザイン工学専攻 (機能材料工学コース)	1名
制御情報システム工学専攻	10名
国際ビジネス学専攻	6名





クラスや寮の仲間たちに支えられた5年間

卒業生代表
機械システム工学科 **泉 寿享**

入学当初、規模が小さな中学校から来た自分は、人の多さに圧倒されていました。しかし、その様々な人と多様な繋がりがもてたと考えています。1年生の時のものづくり基礎工学実験からスタートして、次第に増える専門科目を学びつつ、それぞれエンジニアとしての一歩を踏み出しました。

4年生になってからは、自分の力が社会に出ても恥ずかしくないレベルに達しているのか、大学に受かるだけの学力があるのかと、進路を決めるのに悩むことがたびたびありました。先生方の助言、クラスの仲間たち、さらに自分の場合は5年間共に暮らした寮の仲間の支えが大きな力になっていたと思い返しています。自暴自棄になりそうになりながらも、夜遅くまで残って卒業研究に没頭し、卒業論文を書き上げたときの達成感は忘れられません。

私たちは、グローバル化する現代社会と向き合わなくてはなりません。専門知識はもとより、高い「コミュニケーション能力」も要求されます。富山高専で学んだことや人との繋がりを糧に、新しい世界に向かう所存です。



高専生活を終えて

修了生代表
国際ビジネス学専攻 **矢後 萌**

7年前の春、2つの高専が統合して誕生した富山高等専門学校の最初の入学生として、私たちの高専生活は始まりました。本科では様々な知識や経験を得て、さらに学習を深めたいという思いから専攻科への進学を決意しました。

専攻科では、自らの専門分野の知識を深めるとともに、専門分野にとらわれない幅広い知識を身につけることができました。専攻の垣根を越えた講義では、お互いの知識や考えを共有することにより、新たに気づくこともたくさんありました。また、インターンシップや学外活動の経験は、自らの進路について深く考えるきっかけであり、これからの私の礎となりました。この2年間のすべての経験と出会いに心から感謝しています。

7年という時間はとても長いようで、あっという間でした。4月からは社会人として新たな生活が始まります。これまで本校で培った知識や技術、経験は財産であり、これからの長い人生の中で私を何度も助けてくれることと思います。富山高等専門学校の修了生であることを誇りに思い、自らの夢に向かって前進していきます。友人や教職員の皆様、7年間本当にありがとうございました。



機械システム工学科 代表
石田 誠人



電気制御システム工学科 代表
時長 剛志



物質化学工学科 代表
中川 凌



エコデザイン工学専攻 代表
竹村 沙友理

教員からのメッセージ

Message

■本郷キャンパス担任・専攻科長

本郷キャンパス
機械システム工学科
5年担任
豊嶋 剛司



卒業を祝しまして

皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても感動ひとしおのことと存じます。私は教員生活で初めての担任ということで、皆さんには中々に頼りなく映ったかもしれません。そのため、何度となく「最後には必ず辻褃を合わせてくれるクラスだ」と実感しました。クラスの色というものは個々が掛け替えない役割を果たすことで実現する協働作品であり、皆がそのポテンシャルを持っていることが示されたのが今日という日なのだと思います。卒業という人生の区切りを経て、今までとは異なる環境へ旅立ちますが、これまでの成功体験を自信へと繋げ、自負心と他愛の精神を持って活躍してくれることを心より祈っております。

本郷キャンパス
電気制御システム
工学科5年担任
百生 登



卒業に際して

ご卒業おめでとうございます。皆さんの担任として3年間の付き合いでした。私にはあっという間に感じられますが、皆さんにとっては長く感じられるかもしれません。準備・手続き・健康管理を言い続けた3年間でした。面倒くさい担任だったかもしれません。この場を借りてお詫びします。進学・就職活動では「自信满满」がキーワードでした。自信のない者の言うことは誰も聞いてくれません。自信をつけるには経験することです。筋肉痛の後には超回復が待っています。卒業とはいえこの先もずっと自己研鑽は続きます。しかし、高専5年間でその礎はできています。自信をもって取り組んでください。いつか子供を連れて自慢しにきていただければ幸いです。

本郷キャンパス
物質化学工学科
5年担任
峰本 康正



卒業する皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。皆さんには新しい門出に際し、改めて感謝する気持ちをもってほしいと思っています。無事に卒業に到達したのは自身の努力があったことはもちろんですが、それ以上に保護者や友人の助けもあったことでしょう。これを機に、協力してくれた人へ言葉で感謝を伝えてください。これまで以上に関係がよくなると思います。グローバル社会を突き進む中、社会に出ても、大学に進学しても新しい環境で競争に晒されます。ストレスフルな現代ですが、感謝の気持ちをもっていれば、切磋琢磨できる仲間が増え、待ち構える困難にも対処できていると思っています。感謝を忘れず、成長した姿を見せていただけることを期待しています。

本郷キャンパス
専攻科長・
副専攻科長
高田 英治



修了おめでとうございます

専攻科修了生の皆さん、修了おめでとうございます。本科を卒業後に専攻科に残ってくれた皆さんは、本校の研究を支える大きな力でした。お祝いと合わせ、心より御礼申し上げます。さて、これから皆さんは、会社や大学院など新しい舞台で、新しいライバルたちとの競争に臨むことになります。7年間本校で学んだ皆さんは、各専門分野のことは普通の大学を卒業した人たちと比べ、より鍛えられています。大いに自信をもってください。一方で、これからは協調性や広い視野など、技術以外の面でも評価されます。新しい生活の中でこれまで知らなかったことをどんどん吸収し、さらに成長を続けていかれることを期待しています。

卒業・修了を迎えられた先輩方へ

在校生代表
物質化学工学科4年 岩折 葵

在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方が本校で得られた知識や技術そして経験は、これからの人生においても自信の源となり、心の支えともなることでしょう。さまざまな活動に懸命に取り組んでおられた先輩方の姿から、私たちは大変多くのことを学ばせていただきました。わずかな時間も無駄にせず、大学編入試験や県内外への就職試験の準備に取り組まれている姿や、高専祭や球技大会などで段取りよく準備をされる姿は、私たちにとって憧れであり目標でした。

先輩方がこれから身を置かれる社会は、大規模災害や高齢化など簡単に解決できない問題や、環境や経済といった世界全体で取り組むべき問題にも目を向けなければならない厳しい社会であると思います。困難が立ちはだかることもあると思いますが、本校で培った知識や技術や経験を糧とし、自信と誇りをもって、必ずや新たな道を切り拓いて歩いていかれることと信じております。先輩方の今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



電子情報工学科 代表
西野 香穂



国際ビジネス学科 代表
伊藤 大輔



制御情報システム工学専攻 代表
吉野 長浩



国際ビジネス学専攻 代表
大橋 なな

学会賞

本校から学会等に推薦するもの

【本科】

日本機械学会 畠山賞

道下 凜司 (機械システム工学科)
時長 剛志 (電気制御システム工学科)

電気学会北陸支部 優秀学生賞

時長 剛志 (電気制御システム工学科)

日本設計工学会 武藤英次賞 優秀学生賞

佐伯 颯太 (機械システム工学科)

日本電気技術者協会北陸支部 優良卒業生

中島 光輝 (電気制御システム工学科)

計測自動制御学会北陸支部 優秀学生賞

中田 大誠 (電気制御システム工学科)

映像情報メディア学会北陸支部 優秀学生賞

松原 翔太 (電気制御システム工学科)
川尻 諒 (電子情報工学科)

日本化学会近畿支部第19回工業高等専門学校生

化学研究発表会支部長賞
中川 凌 (物質化学工学科)
横田 優貴 (物質化学工学科)

情報処理学会北陸支部 優秀学生賞

牧野 晃大 (電子情報工学科)

電子情報通信学会北陸支部 優秀学生賞

網谷 達輝 (電気制御システム工学科)

日本分析化学会中部支部 優秀高専学生賞

横田 優貴 (物質化学工学科)

【専攻科】

日本金属学会 2016年秋期 (第159回) 講演大会 優秀ポスター賞

竹村 沙友理 (エコデザイン工学専攻)

平成28年度 独立行政法人 国立高等専門学校機構 学生表彰

屋木 悠佑 (エコデザイン工学専攻)

日本非破壊検査協会 第24回超音波による非破壊評価シンポジウム 新進賞

屋木 悠佑 (エコデザイン工学専攻)

日本機械学会北陸信越支部賞 (学生賞 (学生会活動の部))

志鷹 哲哉 (エコデザイン工学専攻)

第1回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス 最優秀ポスター賞

野上 光博 (エコデザイン工学専攻)

教員からのメッセージ

Message

■射水キャンパス担任・副専攻科長

射水キャンパス

電子情報工学科
5年担任

秋口 俊輔



生き抜く力

皆さん、ご卒業おめでとうございます。5年という歳月は人を成長させるのに十分な時間です。入学時に幼さを残していた横顔は、今ではすっかり大人びて、これから新天地に旅立つに相応しいものになりました。外見だけではなく、内面も大きく成長し、新たな舞台で活躍するための知識、技術も身につけました。長い人生の中で、本校で過ごした日々はほんの束の間です。ですが、ここで得られた仲間、知識、技術はこれからのあなた方の核を成し、厳しい社会を生き抜く力となってくれるはず。これからも出会いを大切に、物事を探求する心を忘れず、新たな技術を学び続ける努力を継続し、大きく羽ばたいていくことを切に願っています。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
5年担任

宮崎 衣澄



友人を大切に

国際ビジネス学科3期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。小学校に次ぐ長い年月を、皆さんはこの射水キャンパスで過ごされました。卒業に至るまでには、多くの苦労があったことと思います。そんな困難を乗り越えることができたのは、周りの友人や先輩、保護者の皆さんの温かい支えがあったからだと思います。皆さんはこれから就職や進学と、それぞれの進路に向けて歩みだします。辛いときに、苦楽を共にした高専の友人はきっとこれからも皆さんを支えてくれるでしょう。心の底から気兼ねなくつきあうことができる学生時代の友人は本当に貴重です。これからも友人を大切に、そして隠することなく新たな友人作りに励んでください。

射水キャンパス

副専攻科長

阿蘇 司



専攻科修了おめでとう

学士を取得し、大学院進学や就職へと7年間の高専生活が終わります。専攻科生活は特別研究が中心で、問題解決の方針を決めて実験や調査し、結果を分析してまとめて学会報告することの繰り返しで、あっという間だったのではないのでしょうか。経験を積み重ねること、その経験を元に進む方向を悩みつつ選択していくことは、人生そのもので、生きる事と同じに感じます。昨秋に手取川の鮭捕獲調査という釣りの機会があり参加してきました。鮭にも遠洋まで旅したり、河口近くの海にとどまったりと、いろいろな選択をするものがあるそうです。自分らしい選択をして、地元から世界まで広く活躍され、笑顔で再びお会いできることを楽しみにしています。

学生表彰

本校表彰規程によるもの

学業優秀賞

道下 滉司 (機械システム工学科)
時長 剛志 (電気制御システム工学科)
能村 省吾 (物質化学工学科)
河合 怜 (電子情報工学科)
武田 望里 (国際ビジネス学科)
志鷹 哲哉 (エコデザイン工学専攻)
紅井 里緒菜 (制御情報システム工学専攻)
矢後 萌 (国際ビジネス学専攻)

特別賞

学生会長 高木 瞭 (物質化学工学科)
学寮会長 青山 翔蓮 (電子情報工学科)

スポーツ賞

全国高等専門学校体育大会
バドミントン競技女子ダブルス優勝 池田 真子 (国際ビジネス学科)
陸上競技女子円盤投優勝 地村 栄 (国際ビジネス学科)

文化賞

第23回全国高等専門学校将棋大会
個人第3位 湊 開誠 (機械システム工学科)

功労賞

学生会活動 中盛 海斗 (機械システム工学科)
学生会活動 網谷 達輝 (電気制御システム工学科)
学生会活動 中島 弥花 (物質化学工学科)
学生会活動 能村 省吾 (物質化学工学科)
学生会活動 山上 登夢 (物質化学工学科)

寮生会活動 瀬尾 基彦 (機械システム工学科)
寮生会活動 泉 寿享 (機械システム工学科)
寮生会活動 中盛 海斗 (機械システム工学科)
寮生会活動 網谷 達輝 (電気制御システム工学科)
寮生会活動 佐渡 諭 (電気制御システム工学科)
寮生会活動 濱谷 華菜子 (物質化学工学科)
寮生会活動 山上 登夢 (物質化学工学科)
学生会副会長 穂田 成美 (国際ビジネス学科)
学生会副会長 池田 真子 (国際ビジネス学科)
学寮会副会長 橋本 愛守可 (電子情報工学科)

(卓越した学生に対する表彰)

網谷 達輝 (電気制御システム工学科)
池田 真子 (国際ビジネス学科)
竹村 沙友理 (エコデザイン工学専攻)

進路一覽

本郷キャンパス

▶ 就職先 ()内は人数。

本科

機械システム工学科

川崎重工業(株)／日本特殊陶業(株)／北陸電力(株)／東海旅客鉄道(株)(2)／YKK(株)黒部事業所(2)／日本ゼオン(株)高岡工場／(株)ニッサンテック(2)／富士テクノサービス(株)(2)／朝日印刷(株)／(株)スギノマシン／(株)リッチェル／中越合金鑄工(株)／ティ・エス・ケイ(株)／(株)日本オープンシステムズ／(株)モビテック／(株)熊野製作所／国土交通省北陸地方整備局

電気制御システム工学科

北陸電力(株)(4)／関西電力(株)／中部電力(株)／(株)NHKメディアテクノロジー 富山事業所／ダイキン工業(株)／出光興産(株)／国立研究開発法人日本原子力研究開発機構／(株)富山村田製作所／(株)ユニゾーン／田辺工業(株)／(株)国際電気セミコンダクターサービス／日本貨物鉄道(株) 関西支社／日東電工(株) 豊橋事業所／(株)科学情報システムズ

物質化学工学科

アステラスファーマテック(株)(3)／YKK(株)黒部事業所／協和ファーマケミカル(株)／クラシエ製薬(株)高岡工場／(株)大塚製薬工場 富山工場／十全化学(株)／(株)アイザック／立山科学工業(株)／丸善石油化学(株)／日清紡メカトロニクス(株) 美合工機事業所／(株)黒川製作所

専攻科

エコデザイン工学専攻

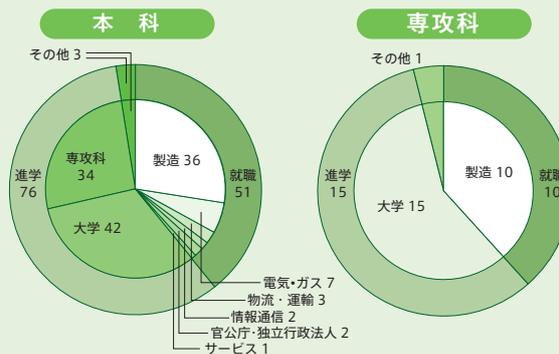
三協立山(株)／(株)日立国際電気／日東メディック(株)／(株)Mテック／(株)第一テクノ／朝日印刷(株)／丸栄運輸機工(株)／十全化学(株)／東ソー・ゼオラム(株)

▶ 進学先

進学先	本科			進学先	専攻科			進学先	エコデザイン
	機械	電気	物質		機械	電気	物質		
富山高専専門学校 専攻科	20	8	6	信州大学			2	東北大学大学院	3
北海道大学			1	豊橋技術科学大学	1	2		千葉大学大学院	1
東北大学			1	名古屋大学			1	電気通信大学大学院	2
群馬大学		1	1	名古屋工業大学		1	2	東京工業大学大学院	3
首都大学東京			1	大阪大学			1	横浜国立大学大学院	1
東京工業大学			1	大阪府立大学			1	長岡技術科学大学大学院	1
長岡技術科学大学		4	4	岡山大学			2	金沢大学大学院	1
新潟大学		2	2	九州大学			1	名古屋工業大学大学院	1
富山大学	1		1	琉球大学	1			京都工芸繊維大学大学院	1
金沢大学	3	1	2					和歌山大学大学院	1
福井大学			1	合計	26	19	31	合計	15

▶ まとめ

	本科・専攻科	卒業予定者	就職予定者	進学予定者	その他
本科	機械システム工学科	49	21	26	2
	電気制御システム工学科	36	17	19	0
	物質化学工学科	45	13	31	1
	合計	130	51	76	3
専攻科	エコデザイン工学専攻	25	9	15	1
	エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース	1	1	0	0
	合計	26	10	15	1



平成29年3月16日現在

射水キャンパス

▶就職先 ()内は人数。※商船学科と海事システム工学専攻は高専通信18号で掲載済。

本科

電子情報工学科

北陸コンピュータサービス(株)(2)／北電情報システムサービス(株)／(株)不二越／西日本旅客鉄道(株)／東亜合成(株)／(株)NTTネオメイト／(株)NTTデータフロンティア／(株)NTTフィールドテクノ／DMM.ComLab／グローフィールド(株)／北陸電気工事(株)／ゼオンノース(株)／NECネットエスアイ(株)／三菱電機ビルテクノサービス(株)／日本テクノストラクチャ(株)

国際ビジネス学科

YKK(株)(4)／北陸電力(株)／中部電力(株)／(株)北陸銀行(2)／(株)富山第一銀行／キタムラ機械(株)(2)／北陸発電工事(株)／ファインネクス(株)／ジャパンメディック(株)／ワイディシステム(株)／(株)レイシャス／経済産業省(3)／国土交通省／法務省(東京入国管理局)／東京地方検察庁／東京都庁(2)／富山県庁／富山県警察事務／国立大学法人(富山大学)

商船学科

日本郵船(株)／商船三井(株)／川崎汽船(株)／商船三井客船(株)／宇部興産海運(株)／福寿船舶(株)／新日本海フェリー(株)(2)／オーシャントランス(株)／日本郵船クルーズ(株)／川近シップマネージメント(株)(2)／佐渡汽船シップマネージメント(株)(2)／ニッスイマリ工業(株)(4)／商船三井フェリー(株)／日本海運(株)／SECOJ／Unix Line Pte Ltd／日本通運(株)(2)／(株)ダイトコーポレーション／東洋ガスメーター(株)／ボルテック(株)／自営業(漁業)

専攻科

制御情報システム工学専攻

(株)インテック／(株)日立国際電気(2)／セイコーエプソン(株)(2)／富士通(株)／(株)PFU

国際ビジネス学専攻

YKK(株)／SMK(株)／(株)富山第一銀行／(株)マイナビ／日清工業(株)／(株)ソフト

海事システム工学専攻

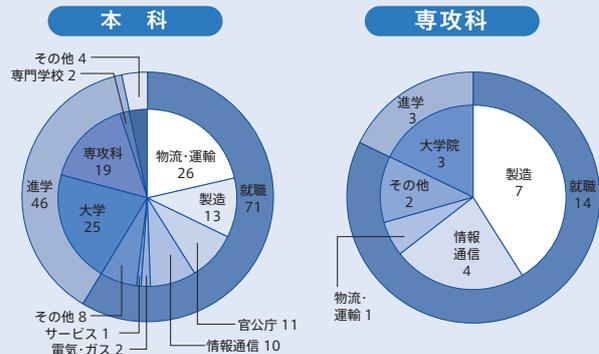
エスオーシーマリン(株)

▶進学先

本科				専攻科							
進学先	電子情報	国際	商船	進学先	電子情報	国際	商船	進学先	制御情報	国際	海事
富山高等専門学校専攻科	10	4	5	信州大学		3		東北大学大学院	1		
秋田大学			1	豊橋技術科学大学	1			東京工業大学大学院	1		
宇都宮大学	1			神戸大学		3	1	奈良先端科学技術大学院大学	1		
埼玉大学		1		広島大学		1					
東京海洋大学			1	九州大学		1					
電気通信大学	1			鹿屋体育大学			1				
新潟大学	1	1		関西外国語大学		1					
長岡技術科学大学	1			富山市立看護専門学校		1					
富山大学	2	2		インターナショナル・メディア学院		1					
金沢大学	1			合計	18	19	9	合計	3		

▶まとめ

	本科・専攻科	卒業予定者	就職予定者	進学予定者	その他
本科	電子情報工学科	35	16	18	1
	国際ビジネス学科	46	27	19	0
	商船学科	40	28	9	3
	合計	121	71	46	4
専攻科	制御情報システム工学専攻	10	7	3	0
	国際ビジネス学専攻	6	6	0	0
	海事システム工学専攻	1	1	0	0
	合計	17	14	3	0



平成29年3月16日現在

就職・進学体験記

本郷キャンパス

機械システム
工学科5年

佐藤 勇気



私は卒業研究について勉強を進めるうちに、高度な内容を継続して取り組みたいと思うようになりました。また、電気系や化学系の他の専門分野を学ぶことで物事を一面からだけでなく、多様な観点から評価ができる技術者として大成できると思ったことも、専攻科進学を決めた理由です。受験勉強と卒業研究活動の両立は心身ともに多くの負担がかかりましたが、無事に合格することができました。常日頃から勉強していればと後悔すると同時に、このことを一つの通過点と考え、専攻科に入学してからの2年間で得ることができる多分野にわたる幅広い知識をもとに、複眼的な視野をもったエンジニアになれるよう勉学、研究活動に励みたいと思います。

専攻科入学試験を終えて

本郷キャンパス

電気制御システム
工学科5年

中島 光輝



就職活動を通して感じたことを書きますので、少しでも役に立てばと思います。まず、就職組には成績があまり関係ないと思われがちですが、成績がよい方が選択肢が増えますし、クラスの中で選考があった場合などで有利になることは確かです。次に、就職活動の開始は早ければ早い方が有利です。スタートは誰も言いませんし、自分で動かないと何も情報は入ってきません。求人や企業説明会の情報を早い段階から調べ、広い視野をもって活動することが大事だと思います。最後に、学校生活で何か1つががんばったことを作っておいたほうがよいです。これはエントリーシートや面接でよく聞かれます。ここで個性が出るので重要です。早い時期から準備を行い、就職活動を乗り越えましょう。

後輩へアドバイス

本郷キャンパス

物質化学
工学科5年

能村 省吾



大学編入を目指し、4年生後半から勉強に本格的に取り組み始めました。勉強を続けていく中で一番苦労したのは、モチベーションの維持でした。本命に合格したい、だがやる気が起きない、どうしたものか。そんなときに友人や親が助けになりました。友人には励ましてもらい、親には愚痴を聞いてもらいました。廊下で「がんばれ」と声をかけてくれた先生、面白い話で笑わせてくれて、かつ懸命に努力する姿を見せてくれた部活動の後輩など…。受験勉強で潰れそうだった私ですが、それを乗り越えることができ、合格を勝ち得たのは、間違いなく友人知人のおかげです。改めて周りの人の助力の大切さに気づきました。

大学編入で気付いたこと

本郷キャンパス

エコデザイン工学
専攻2年

井田 史哉



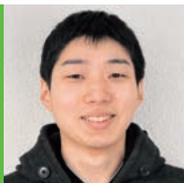
私が大学院試験を通して感じたことは、日ごろの学習の大切さです。これまでの私は、テスト期間に入ってから勉強を始めており、日常的に学習する習慣がありませんでした。そのため、学習内容がしっかりと定着していませんでした。また、大学院試験の勉強を始めても最初の頃は集中力が続きませんでした。しかし、過去問を見てから自分のレベルとの差に気づき、気を引き締めて勉強しました。また、受験する大学院の先輩から受験に関する情報を教えていただきました。そのおかげで、大学院に合格することができました。後輩の皆さんにアドバイスをするとしたら、1時間でもいいので日ごろから勉強する習慣を身につけることが重要だと思います。

大学院を受験して

本郷キャンパス

エコデザイン工学
専攻2年

高橋 良輔



私が現在内定をいただいている企業への就職を決めたのは、就職活動中の2月頃に指導教員の先生からの紹介でお会いした、卒業生の方とお話した時でした。その後、二度行われた面接では、自分の研究について企業の方も真剣になって話を聞いていただいたことをよく覚えています。晴れて内々定をいただいたことで就職活動が終わり、少し経つと内定式が行われました。他の内定者の方々と各部署のトップの方々とお話していると、7年間高専という環境で過ごし、外の世界をほとんど見てこなかった自身の未熟さや考え方の違いなどを痛感しました。学生気分を捨て、一社会人として歩み出す準備をしていかななくてはならないと感じています。

社会人として歩み出す

射水キャンパス

電子情報工学科
5年

河合 怜



高専や大学で行える研究活動に興味をもっていたことなどから、本科卒業後、進学することを選択しました。本格的に進路を考え始め、各大学・専攻科について調べていき、自分に合った進学先はどこなのかを、時には先生方にも相談に乗っていただきながら、見つけていきました。あまり学力的に苦労することはありませんでしたが、それはこれまで日々の先生方の支えがあったからこそだと思います。今後、卒業し進学した後も助けていただいた皆様への感謝を忘れず、日々の努力を積み重ね、精進していきたいです。また、これまでお世話になったすべての皆様に改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

進学活動を終えて

射水キャンパス

国際ビジネス学科
5年

河尻 歩美



私は進路を決めるにあたり、本当に多くの方々に支えられました。友人の中には、いつも励ましてくれた人や、同じ目標に向かって一緒に勉強してくれた人がいました。また先生方には、面接練習をしていただいたり、何度も相談に乗っていただいたりしました。このように、私を応援してくれた多くの方々のおかげで、希望する進路に進むことができました。皆さんが進路を考える際にも、悩む事や辛い事がたくさんあると思います。そんな時は、一人で抱え込まずに、周りの人に打ち明けてみてください。きっと、様々な人が皆さんの力になってくれるはずです。皆さんが希望する進路に進めることを心から願っています。

多くの方々に支えられて

射水キャンパス

商船学科
航海コース5年

谷口 愛



家が港に近いので、私は小さい頃から船を見ており、船は身近な存在でした。4年生のインターンシップでは5日間乗船し、間近で仕事を見学させていただきました。このインターンシップをきっかけに、私は航海士を目指しました。就職活動中は、会社説明会や会社訪問に積極的に参加し自分に合った会社を探しました。また就職試験に備えて、先生方に面接練習や履歴書、作文などを指導していただきました。先生方や友人の支えもあり内定をいただくことができました。私は誰からも信頼される航海士になることが目標です。入社後は早く船内生活に慣れ、積極的に学ぶ姿勢を心がけ、理想としている航海士に近づけるようがんばりたいです。

目標に向かって

射水キャンパス

制御情報システム
工学専攻2年

松井 智哉



私は「どこでもいいから入れる会社に就職できればいいや」という気持ちで、こだわりもなく就職活動を始めました。そんな中で、いい印象をもった企業がありました。そのときに書くことになったエントリーシートの項目に「なぜこの会社で働きたいか」というものがありました。私はありきたりのことしか書けず、その結果、せっかくいい印象をもった企業からは内定をもらうことはできませんでした。私は、本校の多くの先輩が企業から早々と内定をもらう様子を見て、就活は簡単なものだと楽観視していました。それから反省し、県内の優良企業から内定をいただくことができました。皆さん、就活は甘くありません。しっかり準備をしましょう。

就活は甘くない

射水キャンパス

国際ビジネス学
専攻2年

矢後 萌



企業は「入社後会社のために活躍するか」という点から学生を評価しています。そのため、面接では入社後の自分の働きを具体的に想像してもらえようような答え方が重要です。また、自分の意見に説得力を持たせるためには企業分析が必要だと思います。企業分析では、企業がすべきことと自分の達成したいことが合致しているのかという点を考えることが大切だと思います。面接では、自分のことに限らず、企業についても考えているかという点も見られていることを忘れないでください。しかし、就職活動は人や企業との縁でもあるため、自分の願う結果にならないこともあります。その時に、悔いはないと思えるように毎日を大切に過ごしてください。

面接のススメ

インターンシップ

本郷キャンパス

機械システム
工学科4年

細川 貴博



インターンシップで学んだこと

私は夏季インターンシップにおいて、アルミニウムの切削加工で実績のある株式会社ミズノマシナリーと金属めっきを主力事業とする株式会社ユニゾーンの地元企業2社で仕事を体験させていただきました。ミズノマシナリーでは、1名の作業者が2台のマシニングセンタを担当する作業形態をとっておられ、私はその補助作業員としてアルミ素材の着脱作業を体験しました。作業自体はそれほど難しい内容ではありませんでしたが、材料と工具の間へのキリコの混入などが不良品の原因となるため、作業中は終始気の抜けない作業でした。単純な作業であっても、会社の利益だけではなく会社の信用に関わることを学びました。今回、仕事のごく一部の体験でしたが、これまで実習で学んだ金属加工の技術などが実際の現場で使われているのを見ることができ、また、専門分野のみならず幅広い知識が仕事には必要であると感じました。この貴重な体験を活かして、今後の学生生活を充実させていきたいと思えます。

本郷キャンパス

物質化学
工学科4年

栗山 彩香



資生堂のインターンシップに参加して

私は8月22日から26日までの5日間、株式会社資生堂でのインターンシップに参加させていただきました。工場の商品が完成するまでの一連の流れを見学、体験してきました。1つの商品を作るのに多くの方々が携わり、そのすべての方々が、よりよい商品をお客様に届けたいという熱い思いを抱いて働いていることが伝わってきました。社員一人一人の声を聞き、それを取り入れ改善していること、作業をしている時も互いに声を掛け合い士気を高めていること、挨拶や笑顔が絶えないことなど、初めて目にする姿に大きな刺激を受けました。私がとても心に残った言葉は、「働くとは誰かのためにみんな分担している」という言葉です。実際に体験してみると身にしみて感じることができました。また、グループディスカッションを行い、発表する機会もありました。改めて、コミュニケーション能力と人前で自分の意見を伝えることの大切さを実感できました。今回のインターンシップでの経験を、今後の就職活動に大きく繋げていきたいです。

本郷キャンパス

電気制御システム
工学科4年

佐野 智也



三協立山での就労体験

私はアルミサッシやカーテンウォールなどのビル建材をはじめ様々な建材の開発・生産・販売事業を展開している三協立山株式会社で2週間のインターンシップを体験しました。2週間の充実した実習の中で最も印象に残っているのは、製品設計・製造の機械とシステムによる徹底した管理です。これは人によるミスをなくし損害をなるべく抑えるためです。このことから、「仕事をする」ということが「自分のすることに責任をもつ」というとても重いことだと学びました。

サッシの設計実習では、高専で学んだ知識を実際に活用する機会があり、「材料力学」の知識を使い設計したサッシの強度計算を行いました。授業の重要性を改めて認識しました。また、未来のサッシ商品をテーマとしたグループトークとその内容をまとめた発表会では、お客様の立場になって商品を開発する姿勢、商品のよさをお客様に伝える大切さやコミュニケーション能力を学ぶことができました。

今後も、この経験を活かし社会人として必要な知識と力を身につけ日々精進していきます。

本郷キャンパス

エコデザイン工学
専攻1年

江淵 文人



研究インターンシップを終えて

私は8月29日から9月28日までの1か月間、ハンガリーのバズマニーペーテルカトリック大学で研究インターンシップに参加しました。「Convolutional Neural NetworkとSupport Vector Machineのアンサンブル学習による糖尿病網膜症の診断」という研究テーマが与えられ、現地のSupervisorと共に研究活動に取り組みました。Support Vector Machineについては専攻科で研究を行っているため十分な知識がありましたが、Convolutional Neural Networkについての知識はゼロの状態であったため、1からの学習となりSupervisorに教えてもらいながら知識を深めました。私は英語があまり得意ではないため、何度も聞き直すことがありましたが、その度にゆっくりと説明していただき十分に理解しながら研究を進めることができました。また、使用するプログラミング言語に不慣れでプログラムを構築することに苦労しましたが、目標であるアンサンブル学習器の構築は達成できました。

初めての海外ということで戸惑うことも多く大変でしたが、得られることが多くとても充実した1か月を過ごすことができました。今後はこの経験を活かし、専攻科での研究活動に励みたいですし。

射水キャンパス

電子情報
工学科4年

佐藤 優希



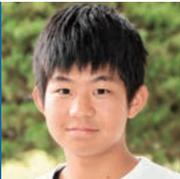
インターンシップを終えて

私は8月26日から8月30日までの5日間、株式会社DMM.comのインターンシップに参加しました。有名な英会話サービスとゲームサービスだけでなく、証券や通販なども行っており、ひとつの企業で多くの事業を受け持っていることに驚きました。インターンシップの内容は主に工場見学、企画体験、Webデザイナー体験、ゲームクリエイター体験でした。工場見学では加賀にある工場で3Dプリンターやパッケージの機械を見学し、企画体験では「女性会員を増やすためのサービス」について話し合い、最終的に自分の意見をパワーポイントでプレゼンしました。Webデザイナー体験では、模擬ホームページ作成を通してHTMLを使ったプログラムの基礎を学び、ゲーム作成体験ではJavaScriptを用いたプログラムで自動対戦できるゲームを作り、誰のシステムがいちばん強いかを競いました。研修の際にお世話になった人事の方々はとても優しく、毎日が充実していました。就職に対しても前向きになれたので、参加して本当によかったと思います。

射水キャンパス

商船学科
機関コース4年

林 彰太



川崎汽船のインターンシップで学んだこと

私は8月29日から9月2日まで、川崎汽船株式会社のインターンシップに参加させていただきました。2日目と3日目には東京本社で、コンテナ船やタンカーなどに乗船されていた方から講義を受けました。インド人の方から受けた英語の講義では、ゆっくりと話していただいたにもかかわらず、単語レベルでしか聞き取ることができませんでした。4日目には自動車船「BAL TIC HIGHWAY」を訪船させていただきました。船内は荷役の真最中で緊迫した雰囲気でした。自動車同士の間隔が握りこぶし一つ分程度である上、自動車に傷をつけない正確さにとても驚きました。また迅速に作業が行われながらも、自動車の運転速度を制限し、ウィンカーを適切に出すなど、安全に関する取り組みも印象的でした。今回のインターンシップを通して、外航海運や船員の陸上勤務を深く知ることができました。今後、英語などの座学に加え、練習船での実習にも力を入れる必要があると痛感しました。5日間の貴重な経験を糧とし、残りの学生生活を有意義なものにしたいと思います。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
4年

松村 さくら



インターンシップを終えて

私は、昨年夏、株式会社まちづくりとやまのインターンシップに10日間参加させていただきました。株式会社まちづくりとやまは、富山市の中心市街地で事業を行う会社で、私はこの会社が運営する施設である「グランドプラザ」で実習を行いました。インターンシップの主な実習は、グランドプラザを使用した自主イベントを企画し、インターンシップ最終日に実施することでした。最初はイベントなんて簡単にできるだろうと甘い考えでイベントの企画をしていたのですが、予算や設営にかかる時間などを考えておらず、イベント実施の大変さを思い知りました。また、利用者が求めるものも考える必要があり、イベントの参加者側には分からない企画者の苦勞も知りました。私はこのインターンシップでコミュニケーション力を高められたと思います。他校の学生と初対面で10日間企画を考えると、とても新鮮でした。めったにできない経験をさせていただき、社会で役立つ知識を得ることができたと思います。

射水キャンパス

制御情報システム
工学専攻1年

富岡 直矢



海外インターンシップで学んだこと

私は8月19日から9月20日の4週間、英国北アイルランドのSouth Eastern Regional College (SERC)でインターンシップに参加しました。主な内容は、語学研修、技術研修、文化交流でした。なぜ私がこのインターンシップに参加したかという、今まで一度も海外へ行ったことがなく、自分のまだ知らない異文化に飛び込んでみたいという気持ちと、これからの自分の視野を広げ、視座を高めたいという気持ちがあったからです。インターンシップが始まった頃は、食事の違いに戸惑ったり、自分の伝えたいことも思うように言えず、ゆっくり話してもらっているのにほとんど聞き取れなかったりするという状況で、少しもの憂げになりました。しかし、1週間から2週間が経過し、現地の生活に慣れてきた頃には、相手の言っていることの多くが分かるようになり、自分の言いたいことも少しは言えるようになりました。このインターンシップを通して、日本の常識と海外の常識が異なることを知り、未知なことに対して思い切って挑戦してみることの大切さを学びました。

退職教職員挨拶

本郷キャンパス

物質化学工学科
教授

安田 賢生



定年を迎えて

まだまだ遠い先と思っていましたが、「光陰矢の如し」のようにいよいよ定年を迎える時が来ました。学生時代の5年間を含めるとトータル43年と半年間、この高専にお世話になったこととなります。現在もキジがいたり、寮の3号館にタヌキが侵入するなど、未だに自然が豊かな学舎ですが、私が富山高専に入学した時は図書館や第二体育館、竹明館、専攻科棟などもなく、春には雲雀が飛び交い、何匹もの野ウサギが棲んでいた原っぱの多い所でした。バスは清住町までしか来ておらず、乗車料金は富山駅から50円でした。ご縁があり、富山高専に勤務することになりましたが、お陰様で今まで多くの学生達や教職員の方々と触れ合うことができました。そして、卒業生からクラス会や女子会などにも年に数回誘っていただきます。また、平成16年にパドミントンの全国高専大会を開催できたことが大切な思い出です。

“少年老い易く学成り難し”と言いますが、正しく私がそうであったように思います。皆さんにはこのような感慨を抱かないように切磋琢磨していただきたいと思います。

末筆ながら、富山高専の益々のご発展をお祈りいたします。これまで、本当にありがとうございました。

射水キャンパス

商船学科教授
八賀 正司



退職にあたって

本年3月末日をもって定年退職いたします。本校に着任してからの18年間、電子技術に関係する教育と研究に携わって参りました。先日、かつて5年半の期間、担任を務めたクラスの同窓会に参加してきました。参加していた卒業生全員が大活躍していることが分かり、教師冥利に尽きる思いでした。振り返ると長いようで短い18年間でしたが、若い学生から元気をたくさんもらいました。小生もこの年齢になると、若い時分と同じようにはいかなくなりましたが、何とか、この富山高専で定年退職を迎えることとなりました。無事に退職できるのは、校長先生をはじめ諸先生方、職員の皆様方、元気で将来有望な学生諸君のおかげです。皆様から多くの刺激を受けながら、温かいご指導とご支援をいただき、大過なく今日まで勤め上げることができたと思っております。皆様、どうぞこれからも健康に十分ご留意され、一層のご活躍をお祈りしております。18年間、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

射水キャンパス

若潮丸船長
中川 宏司



人生の1ページ

平成27年4月に本校に着任して以来、わずか2年間でしたが、大変お世話になりました。前職の海底ケーブルワークで40年間勤めた後、縁あって母校でもある富山高専に勤務することとなり、夢にも思わなかった学生に教える職業に就くことができ、学生たちは無論のことすばらしい人々と出会い、また若潮丸の船長として無事故で本業務を完了させることができましたことに感謝しています。ありがとうございました。

振り返ってみますと、当初から「学生たちに何をどのように伝えるべきか？」分からないままに2年間が過ぎ去ってしまいましたが、学生たちに教えるとともに、多くのことを教わった日々であったと思います。

高専も色々な課題があり、渦の中にあるやもしれませんが、5つの気「元気」「活気」「運氣」「勇氣」「根気」があれば、どのような社会でも、どの年代であれ、豊かでない人生を歩むことができますと考えます。

最後に皆様のご健康と、益々のご活躍をお祈りいたします。そして、本当にありがとうございました。

射水キャンパス

若潮丸一等機関士
野村 誠



定年を迎え

母校(富山商船高等専門学校)を卒業して以来、40数年が経過し、縁があって昨年4月から、練習船「若潮丸」の一等機関士として勤務しています。

学内も、私たちの頃とは大きく変化したことに驚きを感じました。昭和42年に富山商船高等学校から富山商船高等専門学校となり、昭和44年の私たちの入学時、現在地に新築移転し航海学科80名、機関学科40名となりました。もちろん男性ばかりの全寮制です。寮生活では、学生間の上下関係が特に厳しく1年生は「奴隷」、2年生になって「人間」、3年生に至っては「神様」と言われるほどでした。皆よく耐えて卒業したと思います。

現在は旧富山工業高専と統合し、商船学科のほかに工業系等の学科があり、女子学生の多さに驚いています。1年間と大変短い期間でしたが、皆さんに支えられ新たな環境下でよい刺激を受けながら、大過なく今日まで勤める事ができました。私を導いてくださった教職員や若潮丸の乗組員の方々、学生諸君に対し熱く御礼申し上げます。

最後に、皆様の益々の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

事務部長
林 興一



お世話になりました。

37年間にわたる大学・高等専門学校での勤務もこの3月で終了となります。富山高専には平成24年4月に着任いたしました。

それまで富山県とは全く縁がありませんでしたが、文句なしの魚のおいしさ、立山連峰の圧倒的な迫力、人々の人柄のよさ、粘り強さに感動を覚えました。また、雪の多さ、風の強さ、晴れない日の多さ等これまで経験したことのない北陸の気候に驚きと戸惑いを感じてきた5年間でもありました。

在職中、本当にいろいろな方々にお世話になりました。ありがとうございました。無事、定年を迎えられますのも、支えてくださった方々がいたからこそと思います。私の最後の勤務先が富山高専で本当によかったと思います。

富山高専の益々の発展と皆様方のご多幸を祈念いたします。

本郷キャンパス

看護師
家城 栄子



お世話になりました。

富山大学附属病院、大学保健管理センター勤務後、平成8年4月から富山高専保健室に勤務させていただきました。

保健室は、病気、怪我、事故への対応、健康管理・保健指導など常に継続性を求められるもので、到達と達成感の実感にくいものでした。しかし、振り返ってみると学生さんからは「ありがとうございました」と笑顔をいただき、また、サポートが必要な時はご家族や教職員の皆様から理解・協力が得られましたので誠意をもって対応することができました。

仕事や生きる事は一人ではできません。人との繋がりが大切です。皆様との温かい繋がりのおかげで20年間勤務させていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

射水キャンパス

学生課
羽広 明子



ごきげんよう

大変お世話になりました。長い間に世の中の情勢が変わり、学校も変革し、その中で変わらないのが学生の明るさ、がんばる力でした。日々、それに救われて今日を迎えることができました。

ほとんどの期間を寮で勤めさせていただきました。まだあどけなさが残り、親元から離れ、心細さで今にも泣き出ししてしまうのではないだろうかと思われるような子供達が、5年の間に和（わかい）力（ちから）で自立し、立派に巣立っていきます。凄いことだと思います。それを側で見てこれたことは大変幸せなことでした。

たくさん学生の力から貰ったパワーで、今後もがんばっていきたくと思っています。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース & トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

平成28年度企業研究会を 開催しました



1月14日（土）に平成28年度企業研究会を開催しました。

この研究会は、富山高等専門学校技術振興会会員企業を本校にお招きし、企業の方々から直接お話を伺うことにより、実社会にはどのような企業があるのか、どのような業務を行っているのか、企業の求める学生等を知り、学生自身が将来の進路選択について考えることを目的にキャリア教育の一環として毎年実施しています。

今年度は58社の会員企業に参加協力いただき、本科4年生と専攻科1年

生のほか、本科1年生、2年生、3年生を含め156名の学生と4名の保護者が参加しました。学生は熱心に説明を聞き、今後の進路やキャリアについて考える大変貴重な機会となりました。

全国高専英語プレゼンテーション コンテストで優勝

平成29年1月28、29日、第10回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、地区大会で優勝した国際ビジネス学科（射水キャンパス）2年のハイトワ・ムニスホンさんがスピーチ部門に出場し、見事に優勝を果たしました。

スピーチのタイトルは“The Power of Self-Confidence”で、ありのままの自分を大事にすることの大切さを力強く訴えました。優勝とともに、特別賞（全国高等専門学校連合会会長賞）も受賞しました。

ハイトワさんはこれからも英語の力をのばして、国際交流に努めたいと喜びの声をあげていました。



石動駅周辺 イメージジオラマ除幕式



鉄道部が1年間かけて作成した石動駅周辺イメージジオラマの除幕式が、平成29年2月23日に小矢部市役所で開催されました。

多くの関係者が見守る中、鉄道部を代表して機械システム工学科4年鈴木裕貴君と3年内山滉大君が、桜井森夫市長と中田正樹副議長とともにロープを引き、ジオラマをお披露目しました。

当該ジオラマは、石動駅周辺整備事業の一環として、小矢部市から本校鉄道部（本郷）に依頼され、石動駅周辺整備事業後の未来の石動駅周辺のイメージを表したものです。

小矢部市役所1階ロビーに展示されますので、鉄道部の活動の成果を、皆さんどうぞご覧ください。

留学生らが近隣小学校で プレゼンテーションを実施

平成28年12月1日、射水キャンパスの学生7名が、射水市立東明小学校でプレゼンテーションを行いました。正規留学生2名が各出身国スリランカとカンボジアを、短期留学生2名が日本人本科生の通訳を介して出身国シンガポールを、専攻科生2名がインターンシップで滞在した英国北アイルランドをそれぞれ紹介しました。聴講した小学5年生は、外国の紹介を熱心に聞き、興味をもったことを質問したり、日本との違いに驚いたりしていました。

平成29年2月17日には、東明小学校6年生の招待を受けて、射水キャンパス留学生など5名が小学生の英語劇を鑑賞し、お茶席にも臨みました。留学生にとって、日本文化に触れて理解を深めるいい機会となりました。

本校生による近隣小学校での発表等は、15年以上にわたって行っている小学校支援事業で、本校による地域貢献の1つとなっています。



Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト2016全国大会

平成28年11月20日(日) 国技館

プロジェクトΛ(プロジェクトラムダ、本郷キャンパス)が
アイデア賞とマブチモーター賞のダブル受賞!

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016全国大会が11月20日(日)に国技館(東京都墨田区)で開催されました。

東海北陸地区大会で優勝した本郷キャンパス「プロジェクトΛ(プロジェクトラムダ)」は、1回戦2回戦ともに、2メートルを積み圧勝。ワイルドカードとの対戦となった準々決勝でも、順調に2メートルを積みましたが、惜しくも岩の基準を満たすことができず、ベスト8敗退となりました。

マスコットのホタルイカは、ライブストリーミングでも大人気を博し、ベスト8入賞に会場からは大きな拍手が送られました。



富山高等専門学校 平成29年度行事予定 (4月~7月)

月	本 科	専 攻 科	学外行事
4	入学式 始業式 新入生オリエンテーション 前学期授業開始 定期健康診断 保護者による授業参観	入学式(海事システム工学専攻を除く) 始業式 前学期授業開始 定期健康診断	
5	1年生合宿研修 合同球技大会	専攻科入学者選抜(推薦選抜) 合同球技大会	
6	前学期中間試験	専攻科入学者選抜(学力選抜、社会人特別選抜)	北陸地区高専体育大会(6・7月)
7	カッターレース大会(射水) 前学期期末試験(7・8月)	カッターレース大会(射水) 特別研究発表会(海事システム工学専攻)	北陸地区高専体育大会(6・7月)

問い合わせ先 本郷キャンパス：〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402
射水キャンパス：〒933-0293 富山県射水市海老江練合1番2 TEL 0766-86-5100 <http://www.nc-toyama.ac.jp/>

編集・発行：富山高専広報戦略室
編集担当者：吉川文恵、藤崎明宏、中島栄次(本郷キャンパス)、海老原毅、河合雅司(射水キャンパス)



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。